

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

担当名：河川維持担当

内線：5114

(単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
P26	河川改修費（水辺）				一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川改修費（水辺）	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	河川法第9条、河川法第15条の2				針路分野施策	01 災害・危機に強い埼玉の構築 0103 治水・治山対策の推進	SDGsゴール 1, 11, 13 SDGsターゲット 1-5, 11-5, 13-1	
1 事業概要			5 事業説明							
近年の大規模出水により県民の水害への関心が高まっている。また、護岸の損傷や河床洗掘などは、急な大雨により河川の越水、破堤等を招き、沿川や流域に住む県民・財産に多大な被害が及ぶ恐れがある。そのため、浸水実績などを踏まえ、優先度の高い箇所について重点的に河川管理施設の機能復旧・強化を図る。 事務費の節減等による減額補正 △1,020千円			（1）事業内容 河川管理施設の機能復旧・強化 2,644,980千円 護岸の損傷等について、法面保護等による機能復旧・強化の実施 河床洗掘により倒壊する恐れのある護岸について、根固め等による機能復旧・強化の実施 （2）事業計画 損傷した護岸や法面保護などの機能復旧・強化を行う。 （3）事業効果 護岸等の損傷箇所を復旧・強化することで、河川管理施設全体の安全度が向上する。							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況										
県単独河川改修事業債 充当率 90%、交付税措置 なし 緊急自然災害防止対策事業債 充当率 100%、交付税措置 70%										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		県 債								
決定額	△1,020	△2,000							980	2,644,980
現計額	2,646,000	2,646,000							0	

事業内訳書

事業名	河川改修費（水辺）		
単位事業名	河川改修費（水辺）（事務費）	予算額	△ 1,020千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・	△2,000	—	県単独河川改修事業債
一般財源	980	—	
合計	△1,020	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△491	—	事務費の節減等に伴う減額補正
需用費	△373	—	事務費の節減等に伴う減額補正
役務費	△156	—	事務費の節減等に伴う減額補正
合計	△1,020	—	